

# 1 この絵を見て、どう思う？



友達同士で同じ遊びをしていることは、仲が良いということだと思おう。

みんながいっしょに仲良く遊んでいる。いじめ、差別がない。

娘が母親の手伝いをしている。家族そろって父親を見送るのは、温かみがあって良いと思う。

子どもは手伝いをし、父が働く、ごく普通の生活。

男子は外で元気に遊び、女子はのんびり遊ぶ。男子は体を動かすのが好きで、女子は人形遊びが好き。

ゲームとかしない生活って良いと思う。

女の子がお母さんを手伝ったり、お父さんを見送ったりして、仲が良い、いい家族だなと思った。また、幸せそうだなと感じた。

女子は室内で、男子は外に出て遊んでいると、大人になった場合、女性が家で家事、男性が外で働くようになるのかなと思う。

それぞれに楽しそうだが、男女の仲が良くなさそう。

遊び道具が整っていて、環境が良い。

家族が触れ合い笑顔が多いが、父親だけ新聞を読んでいて触れ合っていない。

男女の遊びは違うが、平和という感じがする。

のんびりしているのどか。



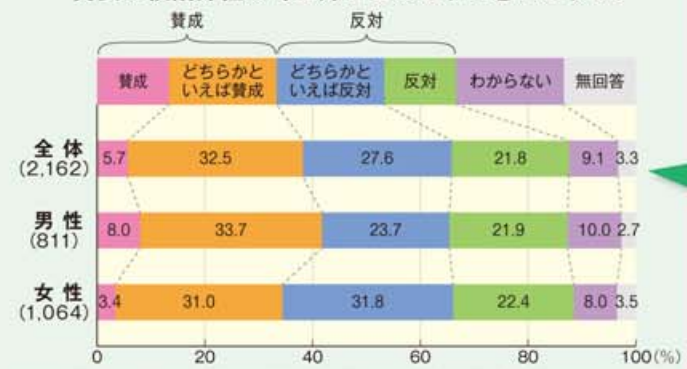
家族げんか一つもなく、平和で充実した生活を送っている。

情報の背後にある「性別によって役割や行動が固定化されている」ことに、最初は気づきません。これは大人でも同じですね。そう思い込んでしまっているからです。



男女の生活の違いを「ごく普通の風景と感じています」授業ではまず、「女子は人形遊び、男子はサッカー」「家事・育児をするお母さん、外で働くお父さん」などの絵を生徒に見てもらい、感じたことを自由に発表してもらいました。すると、大半の生徒は、「仲良く遊んでいる」「良い家族」「幸せそう」など、ごく普通の場面として受け止めていました。

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方をどのように思いますか。



「男は仕事、女は家庭」反対？賛成？  
 全体の傾向では、「男は仕事、女は家庭」という男女の役割分担の考え方に「反対（「反対」と「どちらかといえば反対」の合計が49.4%、「賛成（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）が38.2%となっており、「反対」が「賛成」を10ポイント以上回っています。しかしながら、男女別の傾向をみると、女性は「反対」が過半数を占めているのに対して、男性は「反対」と「賛成」がほぼ同じ割合となっており、男女の意識の違いがみられます。

調査データ  
 さいたま市「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果によると、「男は仕事、女は家庭」という考え方について半数が「反対」の意見を持っています。



# この表現って、おかしくない？

## 中学生といっしょに考えてみよう 男女共同参画からみる「メディア・リテラシー」

私たちの日常生活には、新聞やテレビ、広告など、さまざまな情報があふれています。それらのメディアから発信される情報には、女性らしさ、男性らしさを強調する表現がごく普通に見られます。たとえば、水着姿の女性が商品を持っているポスター、企業の社員や医師が男性ばかり登場するシーン。実は、私たちはこのような表現を「おかしい」と気づかずに無意識のうちに触れていることが多いのです。

そこで今回の特集では、情報を読み解く能力「メディア・リテラシー」について、実際に中学1年生の生徒が取り組んでみました。

あなたも、中学生といっしょに考えてみませんか？

授業を解説していただくのは…



諸橋泰樹先生

【プロフィール】  
 フェリス女学院大学文学部コミュニケーション学科教授。「男女共同参画の視点とメディア・リテラシー」をテーマに研究を続け、多数の著書を執筆するとともに、第一人者として自治体の研修や講演、行動計画の策定など幅広い活動をしています。また、2008年から埼玉県男女共同参画審議会委員、2010年からは会長代理を務めました。

ご協力いただいたのは…

さいたま市立  
 春野中学校



見沼区にある春野中学校は、開校11年。屋上プールやコンピュータ室、陶芸室などを備えた、明るく開放的な雰囲気の中学校です。生徒が主体的、意欲的に学習できる授業に取り組むとともに、実生活に即した「情報モラル教育」や「AEDの使用法」などの授業も行っています。今回の授業にご協力いただいたのは、1年1組36人の生徒の皆さんです。

※メディア・リテラシーとは

メディアからの情報を鵜呑みにするのではなく、自分でじっくりと読み解く能力。さらに、メディアを使いこなす能力、自ら意見を表現・発信する能力のことを「メディア・リテラシー」といいます。